

(一面から続く)
本市における
行政課題への取り組み

●保育園の待機児童
解消に向けて

30年10月には駅東側の新川町に認可保育園を、31年4月には閉園する私立幼稚園を活用した保育園を開設し、保育ニーズと提供体制の均衡を図りながら、さらなる子育て支援策の充実に努めます。

しんかわ保育園の民間化については、31年度の0歳児から段階的に募集を停止し、在園児が卒園した後に閉園します。

●子どもセンター
あおぞらの開館

旧大道幼稚園跡を活用した新児童館である「子どもセンターあおぞら」は、2つの児童館機能に移転し、子育て支援機能の充実を図ります。

●財政健全経営計画
実行プランの推進

社会情勢の変化や行政ニーズを的確に捉え、民間活力も活用しながら、身の丈に合った財政運営に努めるとともに、中・長期的視点を持って改革改善に努め、健全で持続可能な行政運営を推進します。

●産・官・学連携の
取り組み

30年4月に開館する「子どもセンターあおぞら」において、産・官・学が連携した児童館事業に取り組むことを予定しています。こうした取り組みを通じて、今後もさらに連携を深めていきます。

●今後の中央児童館
の運営方法

31年1月から指定管理者制度を導入するため、30年度は

当たつての不安や悩みなどの相談・支援を行っていきます。

●高齢者福祉計画・
介護保険事業計画

介護保険事業の運営に当たり、保険者機能を強化するとともに、地域包括ケアシステムを深化・推進していくため、策定した計画に基づき市の体制に見合った施策の計画的な推進を図ります。地域包括支援センターは、より一層の機能・体制の充実に努める必要があると考えています。

●北部地域の
子育て支援機能

北部地域の公共施設の整備などに係る検討を行う際には、子育て支援機能の視点をもちながら、都市計画道路整備の進捗状況など地域の環境変化を見つつ取り組みを進めます。

●妊娠期からの
切れ目のない支援

30年4月から妊婦の全数面接を実施し、出産を迎えるに大規模修繕工事を実施するとともに、円滑に移行がされるように、丁寧な引き継ぎを行うていきます。

●今後の連絡所のあり方

コンビニ交付の利用状況の把握とともに、市役所本庁舎窓口や各連絡所での住民票などの交付状況についても検証し、今後の連絡所の在り方について検討していきます。

●30年度当初予算
の予算編成と概要

30年度一般会計予算は、431億9400万円、対前年度比19億5400万円、4.7%の増となっております。国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、下水道事業の4特別会計を合わせた総額では、703億5609万9千円で、

●健康づくりと
インセンティブとの好循環

日常生活の中での健康づくりとインセンティブとを融合した取り組みである「健康増進・サポート事業」や「東くまの健康づくり」と産業との連携を図った取り組みの輪を広げます。

●地域産業推進協議会

地域産業推進協議会では、市内産業の活性化やまちの特色を生かしたにぎわいの創出、活力を生み出す新たな取り組みなどを推進しながら、情報発信にも取り組んでいきたいです。今後もにぎわい、活気あるまちを実現するための取り組みを行ってまいります。

●都市計画道路

都市計画道路東3・4・5号線および東3・4・20号線新たなアクセス道路および手法によるコスト削減を図り、事業を進めます。

●健康で幸せに
過ごせるまち

浅間町地区センターの一部改修工事を実施します。わくわく健康プラザ体育室床面の改修工事を行います。

●子どもの未来と
文化をはぐくむまち

就業継続や離職防止を図ることを目的として、民間の保育従事職員の宿舍借り上げ費用を支援します。妊婦面接を受けていただいた際に、市内事業所の協賛も得た育児パッケージを配布します。小・中学校における教育用

は、30年秋頃の交通開放を目途に整備を進めます。

●恒久的な自転車等
駐車場の確保

29年度末を目途に整備計画を取りまとめ、まずは駅西側の自転車等駐車場に係る都市計画決定の手続きを進めていきます。

●地域公共交通の充実

制度設計に向けて交通事業者と調整を進めてきており、30年度中を目途に制度設計を取りまとめたいです。

●上の原地区のまちづくり

「自然と調和した複合多機能都市」をめざして、土地利用のコンセプトとして、まちづくりを進めています。

●市民と行政による
まちづくり

市民参加・情報提供の指針に沿って市民と行政との信頼関係をより深め、それぞれの役割と責任を担いながら、共に進めるまちづくりを推進します。

●計画を推進して
いくために

住民基本台帳およびマイナンバーカードへ本人の希望により旧姓を併記できるようにシステム改修を行います。

東3・4・20号線の整備、ならびに上の原かたらい通りの拡幅整備は、30年秋頃の交通開放を目途に整備を進めます。

●市民と行政による
まちづくり

市民参加・情報提供の指針に沿って市民と行政との信頼関係をより深め、それぞれの役割と責任を担いながら、共に進めるまちづくりを推進します。

域への関心度の高まりや市民相互の連帯感の創出に寄与できたと考えています。今後は、取り組みの輪をさらに広げ、市民や市民活動団体などが共に連携して取り組むことで生じる連帯感の創出に努めます。

●次期長期総合
計画等の検討

次期長期総合計画については、市民の皆さまと共に知恵を出し合い、「夢と希望の持てる元気なまち」の実現を目指して検討を進めます。長期総合計画をはじめとした「まちづくりの基本的な方向・方針」を示し、もって総合的かつ計画的な行政運営を推進していきます。

●次期長期総合
計画等の検討

また、現計画の目標年次である32年は、市制50周年にも当たるため、記念事業の在り方などについて、検討を始めます。

●次期長期総合
計画等の検討

また、現計画の目標年次である32年は、市制50周年にも当たるため、記念事業の在り方などについて、検討を始めます。

●次期長期総合
計画等の検討

また、現計画の目標年次である32年は、市制50周年にも当たるため、記念事業の在り方などについて、検討を始めます。

●次期長期総合
計画等の検討

また、現計画の目標年次である32年は、市制50周年にも当たるため、記念事業の在り方などについて、検討を始めます。



3月3日の土曜議会の本会議開催前に行った「議場ミニコンサート」の様子



ライジングサン



市長 並木克巳

「がんばる市民」の 皆さんと共に

皆さんこんにちは。1月20日から市長2期目がスタートして、初のコラムです。引き続きさまざまな情報発信をしてまいりますので、この状況を市民の皆さんと共に、前向きにそしてプラス思考でなすべきことをしっかりと進め、このまちの可能性をさらに開花させていくことが大切です。

おわびと訂正

広報2月15日号3面、「(仮称)東久留米市駅周辺自転車等駐車場整備計画(案)」に対するパブリックコメント(ご意見)を募集します」の計画の名称に誤りがありました。正しくは「(仮称)東久留米市駅周辺自転車等駐車場整備計画(素案)」です。おわびして訂正いたします。詳しくは管理課 ☎470・7764へ。

どうぞよろしくお願いたします。

今号の1・2面には、30年第1回市議会定例会で述べさせていただいた、私の所信表明のあらましを掲載しています。そこでも触れていますが、地域のつながり、絆づくりへの取り組みを進める中で、地域のさまざまな分野で活躍する市民の皆さんを、市のホームページや公式ツイッター・フェイスブックなどでご紹介する機会を増やしてまいります。皆さんの愛する東久留米を盛り上げてくださる方々を紹介し、さらに東久留米を盛り上げてまいります。市内で頑張っている人、ちまたで有名な人など多くの方をお会いさせていただき、ご活躍の様子をお伝えしていきたいと思っております。東久留米を盛り上げるために、頑張る皆さんを応援いたします。